

## Medi-Way 医療通訳者紹介 Vol.15 スペイン語担当 津田さん

### ◆なぜ医療通訳者になった？

10年前、小学校の通訳でペルー人のお母さんと知り合いました。来日して間もない方で、言葉が通じず不安そうな姿を見ていると、「自分も日本に来た頃は…」と当時の自分と重なり、学校以外の通訳もしてほしいという頼みを断われず続けていました。そして、とうとう病院の通訳もお願いされることになり、「医療は出来ない」と何度も断ったのですが「分かる範囲でいいから！」という言葉に根負けをしました。そして気が付けば、彼女の家族・親戚・そしてその友人にまで「この人に頼めば大丈夫」と広まり、病院での対応を重ねていると、次第に医療通訳に興味を持つようになりました。そして、さまざまな講座に参加をして、いろいろな人と出会い、現在の医療通訳者としての道が開かれました。



### ◆今まで医療通訳に携わってきて一番嬉しかったことは？

通訳の後にはいつも「お役に立てた」と感じるののでうれしいです。その中でもいくつか印象に残っていることがあります。何度か、手術室の中まで一緒に入るという経験をしました。不安な方やパニックになられた方の側で声をかけ続けることで、落ち着かれ、安心して眠られたのを見届けた時は自分もホッとしました。また、難しく悲しいケースでは、がん患者さんのことは忘れられません。初期の頃からずっと付添っていて、告知の時は通訳をするのも辛かったのですが、その方はどんな時でも、いつもとっても素敵な笑顔でした。母国語で話が出来るという安心感は、どの患者さんも共通なので、私はいつも役割を果たせたと感じています。

### ◆より良い通訳をするために心掛けていることは？

出来るだけ毎日医療に触れるように、その時の気分や行動に合わせて学習方法を選んでいきます。家で時間があれば、録画しておいた医療番組を見たり、「勉強しよう！」という気持ちになれば医学関係の本を読みます。家事や通勤時間などで動いている時はヘッドホンで医療に関する話を聞き、リラックスしたい時はドラマを見ますが、やはり医療系を選ぶようにしています。どの方法でも、初めて聞いた病気や症状など、分からないことがあれば必ず調べるように心がけています。そうすると自然に日本語・スペイン語両方の知識が得られたり…というように楽しみながら勉強をしています。

## 今月のピックアップ

### 世界のお名前事情 Vol.2 - 子どものお名前、どうつける？ -

前回に続き、世界のお名前に関するいろいろを通訳者に聞きました。今回は子どもに名前をつける時の「流行りすたり」についてです。

**スペイン語やポルトガル語**：昔は聖書や神話から名前をつけることが多くありましたが、最近是有名人やアニメの主人公からとることも多いようです。奇妙な名前を子どもにつけて論争が巻き起こることもあります。(日本と同じ!)

**ベトナム語**：有名人(サッカーのロナウドやメッシ!)と同じ名前をつけたり、長すぎる名前やおかしな名前(姓が「電子」と同じ発音なら名前は「レンジ」とか?!)をつける人もいます。元々、姓の数が非常に少なく、王朝名であった「グエン」さんという姓が40%を占めています。名前でちょっと差をつけようというところでしょうか。

**中国語**：「流行りすたり」は顕著ですよ。中華人民共和国の成立(1949年)後は「建国」「愛国」「抗美(反アメリカ)」のような勇ましい名前が勢ぞろいしていましたが、今はゲームやアニメの名前など何でもありです。日本でいう「キラキラネーム」とは一味違って、むしろ雅な難読漢字の名前も多く見られるように思います。

**英語**：英語を公用語とする国はたくさんありますが、「キラキラネーム」はあまり聞きませんね。ちなみにビル・ゲイツは3代同姓同名って有名らしいです😊

## 通訳センターリニューアルご紹介

10月8日、東和エンジニアリング関西支社内(大阪市)の東和通訳センターが大きくリニューアルされました。LED照明への変更、壁や床などとても明るい色調になりました。また、通訳者同士のコミュニケーションも取りやすくなり、サポート体制も向上しました。

更に大きい変更点は、ご来社いただいたお客様にガラス越しとはなりますが、通訳センター内をご覧いただけるようになったことです!!

是非、一度ご覧いただけましたら幸いです。

